

## 胆沢ダム竣工式について

胆沢ダム建設事業は、胆沢扇状地の水源地であった石淵ダムの再開発として、昭和58年度に実施計画調査を開始、平成14年度からダム本体建設工事に着手し、ダム建設を進めてきました。

平成24年度から開始した試験湛水では、ダム及び貯水池周辺の安全を確認し、平成25年10月をもって試験湛水を終了しました。

つきましては、地域の発展を祈念して下記のとおり竣工式を執り行いますので、お知らせします。

### 記

日 時：平成25年11月16日（土）10時30分

会 場：胆沢ダム管理庁舎構内（岩手県奥州市胆沢区若柳字横岳前山6）

主 催：奥州市、金ヶ崎町、岩手県企業局、電源開発株式会社、胆沢平野土地改良区、  
東北地方整備局

式次第：開式

主催者挨拶

来賓祝辞

来賓紹介

事業経過報告

セレモニー（記念放流等）

万歳三唱

閉式

（発表記者会：岩手県政記者クラブ、奥州記者クラブ、  
日刊岩手建設工業新聞、建設新聞社）

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 胆沢ダム工事事務所

電話 0197-46-4711（代）

副所長（技術） 藤原 政幸（ふじわら まさゆき）（内線204）

建設専門官 佐藤 隆志（さとう たかし）（内線402）

奥州市 総務企画部 胆沢ダム振興室

電話 0197-46-2111（代）

室長 安倍 研也（あんばい けんや）（内線220）

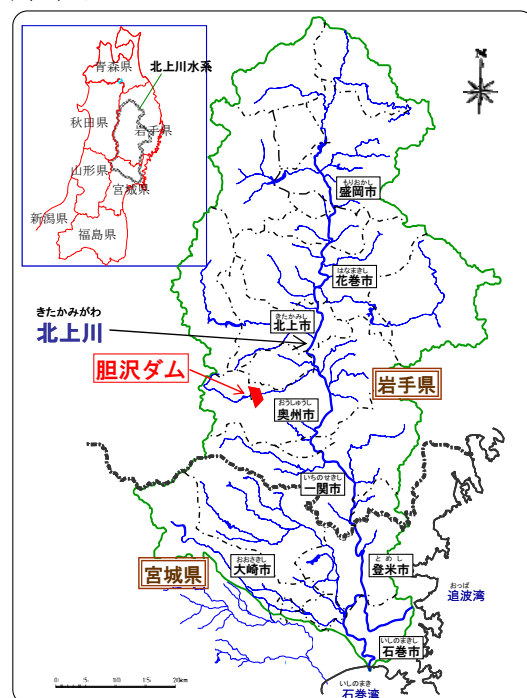
### ◇胆沢ダムの概要

- 場所：岩手県奥州市胆沢区若柳（北上川水系胆沢川）
- 目的：洪水調節（北上川の洪水防御）  
流水の正常な機能の維持  
かんがい用水の補給（胆沢川沿川約 9,700ha）  
水道用水の供給（奥州市、金ヶ崎町）  
発電（岩手県企業局、電源開発）
- 諸元：ダム高 127.0m 総貯水容量 143,000 千 m<sup>3</sup>

### ◇これまでの経緯

- |         |      |                            |
|---------|------|----------------------------|
| 昭和 58 年 | 4 月  | 実施計画調査開始<br>(新石淵ダム調査事務所開設) |
| 昭和 63 年 | 4 月  | 建設事業着手<br>(胆沢ダム工事事務所に名称変更) |
| 平成 4 年  | 2 月  | 一般補償基準妥結調印                 |
| 平成 15 年 | 1 月  | ダム本体工事着手                   |
| 平成 15 年 | 10 月 | 転流開始                       |
| 平成 17 年 | 10 月 | 堤体盛立開始                     |
| 平成 18 年 | 10 月 | 定礎式                        |
| 平成 22 年 | 5 月  | 堤体盛立完了                     |
| 平成 22 年 | 8 月  | 付替国道 397 号全線開通             |
| 平成 24 年 | 12 月 | 試験湛水開始                     |
| 平成 25 年 | 10 月 | 試験湛水完了                     |

### ◇位置図



胆沢ダム全景（平成 25 年 5 月撮影）



最高水位に達した胆沢ダム（平成 25 年 5 月撮影）